

簡易型雨量計の作り方

市では、土砂災害危険度予測システムで抽出した、特に危険な箇所(地区)に対し、自主避難の目安とするための「簡易型雨量計」を配布しました。

この雨量計を配布した地区以外からも要望があったため、「簡易型雨量計」の作り方を提示しますので、参考にしてください。

(1)目的

雨量が120mmに達したら、自主避難の目安とする

(2)設置箇所

家からよく見えて正確に測定できるように次のことに注意する

- ①建物の屋根や庭木の枝などの下を避ける
- ②雨が跳ね返ったり、風の影響が少ないところを選ぶ

(3)使用方法

- ①雨が降りそうになったら、雨量計を空にする(溜まっている水を捨てる)
- ②雨水がたまり、雨量計の赤い印まで来たら、自主避難を考える

◆使用材料および作り方◆

- ①炭酸飲料(CCLemon、三ツ矢サイダーなど)の1500ccのペットボトルを用意する
- ②全長が30cmあるので、上から9cm程度で切断する
- ③ペットボトルの下から5cm程度まで、モルタル(コンクリート)を入れる
- ④目盛を貼って完成(※目盛はmm表示。マジックなどで目盛を書いても良い)
目盛の上にセロハンテープなどで保護すると長持ちする

●作り方の説明図

